

地球の成りたちや生命の誕生と進化、人びとの歩みを壮大なスケールと体感できる展示をもって表現し、過去と現在から未来へつなぐ「いのちのたび」に、あらゆる人をお迎えします。

さらに、かけがえのない遺産を集めて次世代へ引き継ぎ、知の探究に努めて世界へと発信し、あわせて皆さんと共に学び、育ちあい、ゆしみと感動を分かちあえる「唯一無二」の博物館を目指します。

わたしたちの想い(ミッションの解説)

私たちのミッションは、前段と後段の2つの段落で構成されています。

前段は、「北九州市立自然史・歴史博物館」の存在意義と特長を表し、後段は今後の私たちが進むべき方向性を示します。

全体を通じて、私たちの博物館が目指すべき姿はどのようなものなのか、その想いと決意を示したものです。

地球の成り立ちや生命の誕生と進化、人びとの歩みを壮大なスケールと体感できる展示をもって表現し、過去と現在から未来へつなぐ「いのちのたび」に、あらゆる人をお迎えします。

「地球の成り立ちや生命の誕生と進化」は、地球の形成から始まり、古生代、中生代、新生代から現在までの生命の進化のみならず、自然の変遷も意味します。

「人びとの歩み」は、北九州地域の歴史や文化をはじめ、連々と続く過去からの人びとの営みを意味します。

「壮大なスケールと体感できる展示をもって表現し」は、奥行100mのアースモールという「壮大なスケール」の展示、恐竜が生きていた太古の北九州を再現したエンバイラマ館をはじめ、弥生時代の復元住居や明治時代の再現民家など、「体感できる」展示の数々が当館の特長であり、存在意義であることを意味しています。

また、展示の目的や意図を分かりやすく伝えるだけでなく、来館者が自ら感じとれる展示を目指します。

「過去と現在から未来へつなぐ」は、このような展示などから「過去」に学び、「現在」を知り、「未来」を創造するきっかけをつくるという思いを込め、これらをつないで自然と人間の関わり合いを考えることができる、自然史と歴史が融合した総合博物館としての意義を意味しています。

「いのちのたび」は、このような地球の誕生から、そこに生まれた生命が、まるで「果てしない旅」をしているという思いを込めています。

「あらゆる人をお迎えします」は、国籍、年齢、性別、障害の有無のほか、居住地、言語、来館経験の有無などに関係なく、開かれた博物館を目指すという意図を込めています。

また、多くの博物館では静かに観覧すべきと思われていますが、私たちは、あらゆる来館者の驚喜の声や創造的な会話などが許される情緒を深めていきます。

さらに、心のこもった対応、快適な環境、充実した時間を提供し、何度でも訪れたいくなる博物館を目指します。

さらに、かけがえのない遺産を集めて次世代へ引き継ぎ、知の探究に努めて世界へと発信し、あわせて皆さんと共に学び、育ちあい、ゆしみと感動を分かちあえる「唯一無二」の博物館を目指します。

「かけがえのない遺産を集めて次の世代に引き継ぎ」は、地球と人の歴史をとおして生み出され、過去から現在へと引き継がれてきた、かけがえのない有形・無形の遺産について、私たちの責務のひとつである、収集して保管し、研究して展示する、永続的な取組みを意味しています。

また、「遺産」とは、通常、人が生前に所有していた財産のことを指しますが、近年は「世界遺産」や「自然遺産」、「文化遺産」という言葉が普及してきました。この「遺産」については、日本ユネスコ協会連盟が「世界遺産」として定義する、「地球の生成と人類の歴史によって生み出され、過去から現在へと引き継がれ、そして私たちが未来の世代に引き継いでいくべきかけがえのない宝物」という意味で使用しています。

「知の探究に努めて世界へ発信し」は、私たちの責務のひとつである、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学など、多様な分野にわたる調査や研究に努め、研究機能を重要視していることを意味しています。

また、博物館が担うべき社会的な役割として、研究成果を学術論文などとして世界へ向けて発信し、地域へ還元して北九州市に貢献するとともに、博物館どうしの連携・協力、教育、まちづくり、観光、福祉など、様々な分野の「世界」と協働することによって、私たちが地域の拠点となり、多様な価値を発揮します。

「皆さん」は、来館者はもとより、地域の皆さん、博物館を支える市民団体や友の会の皆さん、ボランティアであるシーダーなど、博物館に関わる全ての方々を意味しています。

「共に学び、育ちあい」は、「皆さん」と共に生涯にわたり、博物館を知的好奇心や探求心を持ち続けることができる交流の場として、私たちも学び、お互いに成長していこうとする意志を込めています。

「ゆしみと感動を分かちあえる唯一無二の博物館を目指します」は、私たちならではの取組みを創造し、心が満ち足りるようなゆしみと、言葉では言い表せないほどの感動を、皆さんと分かちあうように努力していくことを意味しています。

また、他と比べることができない、その存在自体が放つ独自の魅力や影響力を持つ、必要不可欠な存在になるという決意表明です。

加えて、唯一無二の博物館を作り上げることによって、インクルーシブな社会への実現や知的な活動が根付いた地域の形成など、新たな取り組みにも挑戦していきます。